

FTM-150シリーズ: ファームウェアアップデートに伴う機能変更について

2025年4月
八重洲無線株式会社

2025年4月22日現在、FTM-150シリーズの最新ファームウェア、及び本ファームウェアアップデートに伴う機能変更についてご案内いたします。

最新ファームウェアバージョン:

- MAIN: Ver1.03
- SUB: Ver1.02

現在のファームウェアバージョンの確認方法:

1. [F(BACK)]キーを長押しします。
2. DIALツマミ(右側)を回して [59 SOFTWARE VERSION]を選択します。
3. DIALツマミ(右側)を押すとファームウェアバージョンが表示されます。

本最新ファームウェアは弊社ホームページ「FTM-150シリーズ」のダウンロードページにて、下記の通り公開しております。ファームウェアのアップデート方法については、「ファームウェア・アップデート・マニュアル」をご覧ください。

FTM-150シリーズ 最新ファームウェアダウンロード(2025/04 MAIN Ver.1.03/ SUB Ver.1.02)

- FTM-150_MAIN_JPN_V0103.SFL
- FTM-150_SUB_V0102.SFL
- FTM-150R_Firmware_Ver_Up_Manual_JPN_2504-A.pdf (ファームウェア・アップデート・マニュアル)

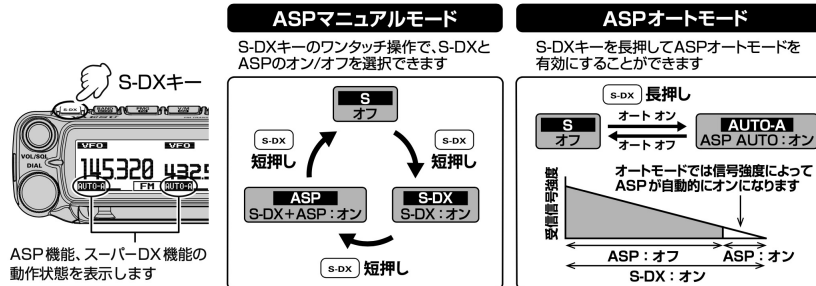
現在のご使用の無線機のファームウェアバージョンが最新でない場合、本最新ファームウェアにアップデートすることによりASP機能、PMG機能、スコープ機能が以下のように変更され、FTM-150シリーズを更に便利にお使いいただけるようになります。

ASPオートモードを新たに搭載、ASPとスーパーDXのワンタッチ切替も可能に

ASPのオートモードを新たに搭載し、オートモードとマニュアルモードを選択して使用できるようになりました。

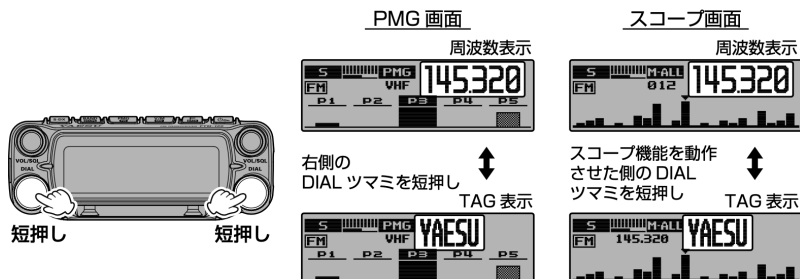
ASPオートモードをオンにすることで、信号強度によってASPが自動的にオン・オフします。弱い信号を受信したときのみASPのノイズキャンセル効果を得ることができます。

マニュアルモードでは[S-DX]キーを短押しするたびにスーパーDXとASPのオン・オフを手動で切り替えることができます。



PMG画面とスコープ画面で周波数表示と名前(TAG)表示の切替が可能に

名前(TAG)を付けているメモリーチャンネルは、周波数表示とTAG表示を切り替えることができます。PMG画面では右側のDIALツマミを短押し、スコープ画面ではスコープ機能を動作させた側のDIALツマミを短押しで切り替わります。



PMG画面の受信履歴のバーグラフ表示方法の更新

受信信号の履歴を示すグレーのバーグラフ表示が、受信信号がなくなってから約2秒後に滑らかに消えるようになりました。また、バーグラフが消えるまでの時間を、2/5/10/20/30秒から選択できるようになりました。(セットアップメニュー[18 PMG]→[PMG HOLD])

その他、各種のファームウェア改善・最適化も対応されております。